



アートモンテ・カルロ-F.P.ジュルヌ賞

- 2024年7月5日 -

アートモンテ・カルロ-F.P.ジュルヌ賞が、"Untitled 2023"により、ギャラリーGalleria Franco Noeroが紹介するAnna Boghiguianに授与されました。

第8回アートモンテ・カルロは、2024年7月6～7日にモナコのグリマルディ・フォーラムで、モナコ公殿下アルベール2世の特別な庇護のもと開催され、世界の27のギャラリーにより、モダンおよびコンテンポラリー・アートの200以上の作品が集められました。

参加したギャラリーの中には、Perrotin（プロタン）、Hauser & Wirth（ハウザー＆ヴァート）and Almine Rech（アルミン・レッシュ）などの著名な一流のギャラリーと並び、Lisson Gallery（リッソン・ギャラリー）や and Lelong & Co（ルロン&Co.）といった新進の名前もありました。2024年の今回は、モナコ公殿下アルベール2世財団やグレース王妃シアターなど、最近のモナコの文化的な機関との提携も紹介しました。来訪者は、数多くの作品を鑑賞し、Luciano Chessa（ルチアノ・チェッサ）による"Monaco Mobile"（モナコ・モバイル）や Pavillon Bosio（パヴィヨン・ボシオ）の"Les Imprévus - FLY"（レ・ザンプレヴェュ-フライ/意外性-飛翔）などを通して唯一無二の芸術体験に参加することができました。加えて、ロンドン・テート・ギャラリーと協力して、英国の芸術家ターナーを讃えた展示会モナコ・アートウィーク、そしてモナコ新国立博物館(NMNM)では、ミケル・バルセロとピエール・パオロ・パソリニのインスタレーションを楽しむことができました。

7月5日のオープニングセレモニーにおいて、アートモンテ・カルロ-F.P.ジュルヌ賞が、"Untitled 2023"により、ギャラリーGalleria Franco Noeroが紹介するAnna Boghiguianに授与されました。参加ギャラリーが紹介するアーティストの中から最も優れた展示に授与されるこの賞は、Björn Dahlström/ビョルン・ダールスドレム（NMNM館長）、Francesco Manacorda/ フランチェスコ・マナコルダ(Castello di Rivoli/カステロ・ディ・リヴォリ館長)、そして Meriem Berrada/メリエム・ベラダ (アル・マードン現代アフリカ芸術博物館の芸術ディレクターを含む、専門家のパネルによって決定されました。

芸術は、文化と感情の本質的な源です。この理由からF.P.ジュルヌは、人間的な規模のエクスクルーシブな芸術イベントを支援します。継続するこの取り組みにより、マニファクチュールが体現する真正さ、希少、才能といった価値と呼応する、新進の才能を奨励し、革新的なイニシアティブを支援しています。